

グアムで学んだこと

棚田 ほたる（中学2年）

私は最初、とても不安でした。思った以上に英語が早く、全然聞き取れなかったからです。私は一日目、単語をつぎはぎに合わせたような英語しか喋れませんでした。しかしグアムの方は優しく接してくれ、私が言葉につまっていたらゆっくり待ってくれました。そのため二日目からは私は落ち着いて英語を話すことができました。そして、いつも「ダイジョウブデスカ？」と聞いてくれました。とても温かく迎い入れてくれたので本当に安心して毎日を過ごせました。

私がグアムに行ってよくわかったことはグアムの方は「本当にフレンドリーだ」ということです。例えば、最初のあいさつでは、ウェルカムボードを持って私たちを快く受け入れてくれ、日本では初対面にはしないハグもしました。私は「最初から?!」と、若干驚きましたが、とてもうれしかったです。「ああ、快く受け入れてくれてありがたいな…」と思いました。そして、私が驚いたことは Hello をほとんど使わず、Hafa Adai（ハファデイ）を使ったことです。これはチャモ口語の Hello に相当する言葉でグアムの現地語です。私はいくつかこのチャモ口語を教えてもらいました。

私が一番学んで良かったと思ったのはお金です。グアムは紙幣がたくさんあり、硬貨もたくさんありました。例えば、日本で百円硬貨はグアムでは大体 1 ドルという紙幣です。セントという硬貨はドルよりも下で、値札はいつも少数のような点がつけられ、『1.00 (1 ドル)』とこのように表記されていました。『1.23 (1 ドル 23 セント)』なら紙幣とコインを両方使いました。私は最初、似たような硬貨ばかりでとまどっていました。そこでカウンターパートのフィオナが私にお金の使い方を教えてくれました。おかげで私はたくさんの似たような硬貨を使い分けることができるようになりました。

私が困ったことは車のなかです。家族でお話をしているときでした。何と言っているのか分からなくて私は黙っていました。それがだめだと分かっていると言ったらいいか分からなかったからです。しかし、耳が慣れたのか二日目のフリーデーでは、車移動のときになんとなくですが単語が聞こえるようになりました。

私はこのプログラムに参加できてとてもいい経験になったと思います。ここまで支えてくれた家族、KIRA のみなさん、そして快く私たちを受け入れてくれたグアムの方に感謝しています。本当にいい経験になりました。

